2組　企画提案

☆担任　伊香　佳子さん
☆副担任　　森　慎太郎さん
☆メンバー　・落合　保多瑠　・神　なぎさ
・植田　涼花　　・川口　華流
・千葉　理璃花　・斉藤　洋子
・福士　ひめか　・山口　結愛

本日の内容

1. 活動報告
2. 経緯
3. 内容
4. 効果
5. 課題

１．活動報告

１．活動報告

①HRでの話し合いから

１．活動報告

①HRでの話し合いから
（気づいたことなど）

・かつての商店街や海の様子を知れた

・商店街では活性化のための取組みがたくさん行われている

・県や市だけでなく、商店街も動いている
（イベント計画など）

１．活動報告

②海の周辺を散策して

１．活動報告

②街周辺の海を散策して
（感じたことなど）

→海辺は歩くだけで気持ちがいい、
楽しい

→アスパムは遠いようで近い

→イベントが気付かないうちに
行われていた

１．活動報告

・駅前周辺の海にはまだたくさんの
魅力がある

・商店街でも活性化のため多くの取組が
行われている

↓

<u>まだまだ知られていないことが多いので
もっとたくさんの人に知ってもらいたい</u>

２．経緯

２．経緯

・海についての講義から

→海の存在、環境について学んだ

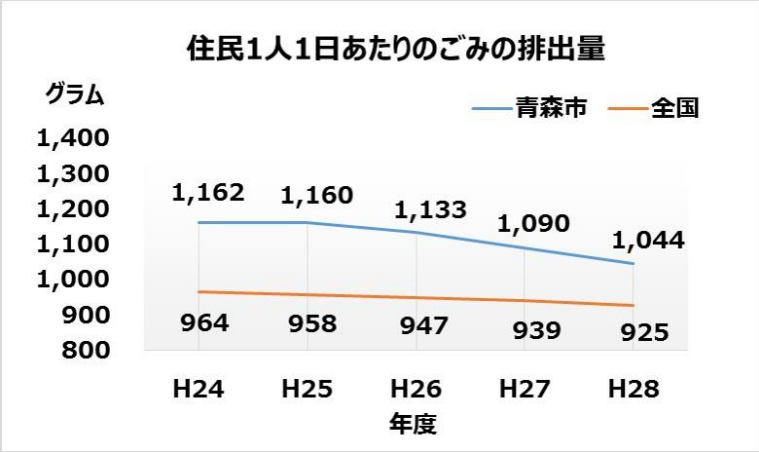
・街てく、清掃活動から

→ゴミの多さを改めて実感
（駅前ビーチ完成後さらに増えると考えられる）

↓

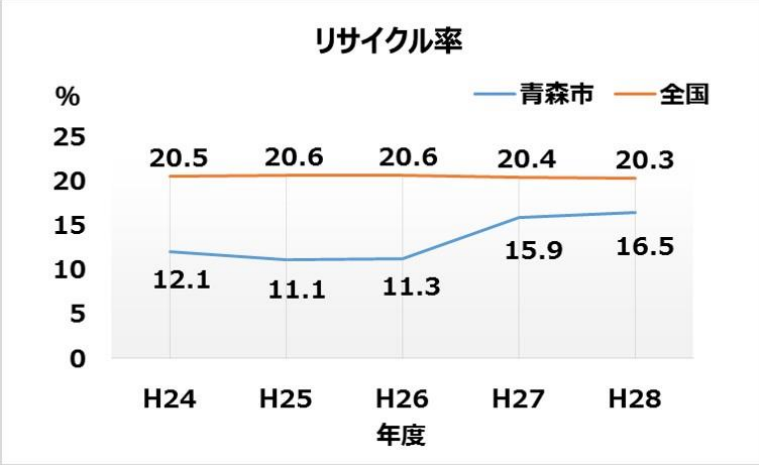
「ゴミ」の現状に着目

２．経緯



２０１８年６月現在　青森市のホームページより
（city.aomori.aomori.jp）

２．経緯



２０１８年６月現在　青森市のホームページより
（city.aomori.aomori.jp）

２．経緯

・ゴミの量は全国平均を上回っている↑

・リサイクル率は全国平均を下回っている↓

↓

ゴミをたくさん燃やしていることになり
海やまちの環境に影響する

２．経緯

海にはゴミがたまりやすい

↓

回収し、燃やして処理

↓

海やまちは長く保たれるのか？

↓

環境に優しい処理が必要

２．経緯

正しい処理＝リサイクル

→リサイクル率が増えると、海やまちは
　きれいに保たれる

リサイクルする→正しい分別が必要

正しく分別できる人が増えると
「ゴミが溜まりやすい」イメージも改善される

３．内容

シェアリージョマンを目指せ！
～Let’sリサイクル～

３．内容

親子で中心商店街から
ペットボトルを集める
↓
分別して重さと正確さを競い
ランキングにする

３．内容

楽しみながら正しい分別を体感

↓

海やまちは大切な存在になる

↓

楽しい＝大切な海やまちを
自分たちが守ろう！

３．内容

・対象
　小学生の親子連れ（５～１０組程度）

・実施日
　夏休み

・場所
　中心商店街

３．内容

・ルール

1. チェックポイントとなるお店に行く

・協力してくれるお店を探す

→自分たちもより商店街と繋がることができる

・スタッフとして他の学生団体に協力を依頼

→人と人との輪が広がる

３．内容

2. じゃんけんをして決められた数のペットボトルをもらう

・お店であらかじめ用意

→飲食店などはペットボトルのゴミが多いと考えられる

・お店の方からの声掛け

→「生の人間がつながること」が大切

３．内容

3. 時間内で商店街を自由に回る

・お店以外で落ちているものも拾ってもらう

→子どもたちが商店街に足を運ぶきっかけになる

→自分の得点増加にもつながる

→自動販売機とコンビニのゴミ箱からは禁止とする×

３．内容

4. 集めたペットボトルを分別

・リサイクルできるように正しく分別

→自分で体感することで身につけることができる

→子どもたちに正しく伝えることが大切

３．内容

5．重さと分別の正確さでランキングをつける

・上位の子どもには景品のプレゼント

→商店街のお店の商品券など

・参加してくれた子どもたち全員に参加賞

→どちらも継続していくうえで負担にならないようにする

３．内容

正しいペットボトルのリサイクルとは、

①キャップとラベルをはがす

②中を水で洗い流す

③横方向に潰す→リサイクルへ

大変なことだが正しく身につけてほしい！

３．内容

2020の駅前ビーチ完成後

青森県港湾空港課　提供

３．内容

・水鉄砲で的あて

→拾ってきた鉄砲としてペットボトルを活用

・宝探し

→拾ってきたペットボトルを活用

→見つけたペットボトルを景品と交換

３．内容

・休憩スペース

→ビーチでくつろげる空間

→飲み物の提供

<u>駅前ビーチの活用で海を身近な存在に感じ遊ぶことで楽しめる</u>

３．内容

周知方法

・商店街で行われているイベントでのゴミ拾い
→自分たちの存在を認識してもらう

・それぞれのSNSで宣伝

・小学校にチラシ配り
→QRコードを掲載して応募制にする

４．効果

４．効果

・正しい分別を知り、海やまちをきれいに
　保つことができる

・海が身近な存在になる

・中心商店街とふれあうことで楽しい印象になる

→青森に愛着をもってもらえる

・商店街と人のつながりが強くなる

・人と人が繋がるきっかけになる

５．課題

５．課題

・集めたペットボトルを洗う場所はどうするか
　→水がでるところからホースをつなげる

・手を洗う場所をどこにするか
　→ワラッセなどに協力を依頼

・回収したり、ゲームに使ったペットボトルの処理はどこで行ってもらうか
　→ワラッセなどに協力を依頼し、リサイクル！

青森の海やまちを守っていこう！
という人が増えるようなまちづくり

↓

シェアリージョマンを目指せ！
～Let’s リサイクル～